

総合生産科学研究科の教育理念・目標

（教育理念）

工学・化学・水産学・環境科学・情報データ科学の技術と英知を結集し、再生可能エネルギー開発、水環境技術推進、国土強靱化・減災と環境との共生、水産資源の活用等、地域振興に根ざした技術革新と持続可能な社会構築に貢献し、炭素循環社会の実現に向けて、最先端技術を創出するとともに、グローバルな危機的課題を解決できる研究者、高度専門職業人を養成する。

（目標）

様々な分野の専門家の指導を受けながら、最先端技術や学問を修得しつつ、他分野を含む高度専門分野を修習することにより、多様な諸問題の解決に貢献できる能力を身につけさせる。

博士後期課程総合生産科学専攻の教育理念・目標

○共生システム科学コース

工学・化学・水圏生物学・情報データ科学に関する高度な専門的・学際的知識を身につけ、地球規模での深刻なエネルギー・環境・食料・資源問題を解決し、持続可能社会を構築するために、データサイエンスやIoTを活用し、高い倫理観と安全意識を持って自立して研究を推進できる能力を身につけ、持続可能社会の構築をリードする研究者及び高度専門職業人の養成を教育目標としている。

○海洋未来科学コース

海洋現場で求められる高度な専門的・学際的知識を身につけ、洋上風力・潮流力・波力等の海洋再生可能エネルギーや海域利用促進に関する創造的研究の推進能力及び俯瞰的な視野を持つ、あるいはネイチャーポジティブの視点に基づき海洋技術やスマート養殖技術を推進できる高度な技術や能力を備え、次世代を担うリーダーとしてイノベーションを創出できる研究者及び高度専門職業人の養成を教育目標としている。

○水環境科学コース

環境科学分野に関する高度な専門的・学際的知識を身につけ、水処理技術や水環境評価技術の創造的研究を推進し、水環境を取り巻く国際的な環境問題の解決に俯瞰的な視

野で取り組み、グローバルに高度な研究を先導・展開できる研究者及び高度専門職業人の養成を教育目標としている。

博士後期課程総合生産科学専攻のディプロマ・ポリシー

3年以上在学して所定の教育プログラムに定められた単位（15単位以上）を取得し、以下の能力を身につけ、博士論文が学位審査基準を満たした者に対し、博士（工学）、博士（水産学）、博士（環境科学）、博士（情報データ科学）又は博士（学術）の学位を授与する。

- (1) プラネタリーヘルスに貢献する人材として、高度な専門的・学際的知識，専門実践能力，創造的研究の推進能力，課題探求能力，問題解決能力を身につけている。
- (2) 高度専門職業人・研究者としての高い倫理観と安全意識を持っている。
- (3) 実践的指導者・研究者として、グローバルに活躍できるコミュニケーション能力，指導力を持っている。

博士後期課程総合生産科学専攻のカリキュラム・ポリシー

長崎大学のカリキュラム・ポリシーに沿って、学生が体系的かつ主体的に学修できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行う。

- (1) 「最先端専門科目」では、実践的指導者・研究者として必要な高い専門的知識，課題探求能力，問題解決能力を修得する。
- (2) 共通科目である「特別講義」では，「総合生産科学特別講義」として，国際的活躍を視野に入れた英語による講義とポスター形式による研究発表を行い，学際的な知識を修得する。
- (3) 共通科目である「特別演習」では，当該学生の副指導教員が担当する「総合生産科学特別演習」を必修科目として学び，総合力・応用力を養う。
- (4) 共通科目である「学外研究・実習」では，「特別学外研究」として国際インターンシップを含む学外での連携研究施設にて研究及び実習に従事し，専門領域における多角的な問題解決を試みる。
- (5) 「国際実践科目」では，実践的指導者・研究者として研究発表や国際論文執筆に必要なスキルを身につける。
- (6) 「アントレプレナーシップ」では，起業家精神を培い，起業によって新事業創造を行い，社会課題解決や社会価値創出につなげる実践能力を身につける。

(参考) 授業科目とディプロマ・ポリシーの対応表

養成する力 授業科目	高度な専門的・学際 的知識，専門実践能 力，創造的研究の推 進能力，課題探求能 力，問題解決能力	高度専門職業人・研 究者としての高い倫 理観と安全意識	実践的指導者・研究 者として，グローバ ルに活躍できるコミ ュニケーション能 力，指導力
アントレプレナー シップ		○	
国際実践科目			○
最先端専門科目	○		
学外研究・実習		○	○
特別講義	○		○
特別演習	○		

博士後期課程総合生産科学専攻のアドミッション・ポリシー

入学者に以下の学力・能力、資質・素養を求める。

- (1) 水産・生物資源，化学・物質化学，環境レジリエンス，スマートシティデザイン，電気・機械システム，情報データ科学，水環境科学，海洋科学の各専門分野のいずれかにおいて高い基礎学力と専門実践能力(修士相当)がある。
- (2) より高度な専門的知識や技能の獲得並びにそれらを応用した独創的な研究に取り組む意欲がある。
- (3) 技術者，研究者，高度職業専門人としての高い倫理観と安全への意識がある。
- (4) 地球と自然環境に配慮した循環型社会に貢献する強い意思がある。
- (5) 国際的な場で活躍できるコミュニケーション能力がある。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎,大きい比重:○)）

入試区分		求める資質等				
		高い基礎学力と専門実践能力(修士相当)	研究に対する意欲・積極性	技術者，研究者としての高い倫理観と安全への意識	国際的な場で活躍できるコミュニケーション能力・英語力	人間と地球と自然環境に配慮した持続可能社会に貢献する強い意志
一般入試	口述試験及び面接	◎	○	○	○	○
社会人入試	口述試験及び面接	◎	○	○	○	○
外国人留学生入試	口述試験及び面接	◎	○	○	○	○
進学者選考	口述試験及び面接	◎	○	○	○	○